

議長退任の言

幹事 假谷 実

まことに残念であります。あすの会は本日をもって解散となります。この後、清算に入ることにな

謝 辞

本日は長時間、会にご参加いただき誠にありがとうございました。特に上川大臣はご多端の折、最後までご列席賜り心からお礼申し上げます。

淡々とお話すると申し上げましたが、このように今日で最後になりますと、いろいろなことが胸に込み上げてきます。いろいろな方にお世話になったのだと改めて思います。運動をやっているときに、うまく良いところに良い人がいて、これがうまく繋がっていた。これがこの運動が成功した原因だったと思います。

あすの会を作り、諸澤先生と知り合いになり、そして白井孝一先生を知り、法務省の方々も個人的な関係で教えを頂くようになり、署名活動では第一東京弁護士会で私と同僚であって当時国会議員になっておられた杉浦正健先生が小泉総理に繋いでくださいました。総理の「分かった。大変だ。やろう」との一言がなければ自民党もこんなには動かなかったであろうと思います。それを受けて保岡興治先生が司法制度調査会長、上川大臣へと繋がっていきました。やはり、事が動くときは必要な時に必要な人がそばにいるという事

りますが、会所有の個人情報については解散と同時に全て消去いたします。以上をもちまして、大会の議事を終了させていただきます。

顧問 岡村 勲

です。そうでなければ、どんなに一生懸命やっても運動は成功しなかったでしょう。私たちは恵まれていたと思います。

先ほど申し上げたように、少ない会員で今日まで頑張ってきたのは、明日は我が身かもしれないと、会員自身の後援してくれたおかげだと思います。会はこれで終わりますが、集まった被害者の方々の友情は一生消えることはありません。今後も会員同士で集まることでしょうかから、私もできる限り参加したいと思います。私は70歳でこの会を立ち上げて、最近89歳になりましたが、まだ余命がある限りいろいろなことをしていきたいと思います。

あすの会の運動は市民運動の一つの例になるのではないかと思います。ここにある幟や意見書等の資料が、後々市民運動の参考になると思い、どこかに保存する場所がないかと探しております。皆さんの中で、良いアイデアがありましたら是非教えて頂きたいと思ます。よろしく願いいたします。



大会を終えて、上川陽子法務大臣と岡村勲顧問



大会終了後、記者会見の様子